



2022年度

(令和4年度)

社会福祉法人イリアンソス

**事業計画**

## 目次

### 第1 2022年度イリアンソス事業計画について

1. 法人の理念
2. 情勢展望
3. 法人事業方針
4. 事業方針の具体化
5. 法人運営
  - (1) 法人役員
  - (2) 職員体制
  - (3) 理事会・評議会
  - (4) 法人会議
  - (5) 家族会
  - (6) 研修
  - (7) 施設整備
  - (8) 職員採用
  - (9) 事業所別利用状況
  - (10) 担当者会

### 第2 事業別

1. 日中支援部門
  - (1) 重点課題
  - (2) 各事業所
    - 1) のぞみの家
    - 2) 活動センターかなえ
    - 3) なかまの家
2. 生活部門
  - (1) 重点課題
  - (2) 各事業所
    - 1) 生活寮そら
    - 2) 生活寮にじ・かぜ短期入所
3. 余暇・居宅部門
  - (1) 重点課題
  - (2) 各事業所
4. 相談部門
  - (1) 重点課題
5. 事務部門
  - (1) 重点課題

## 第1 2022年度 イリアンソス 事業計画について

### 1. 法人の理念

- 1 障害のある利用者一人一人を「主人公」として、生きてきたそれぞれの歴史を大切に、これからの人生を共に考えていくことのできるきめの細かい丁寧な実践をすすめます。
- 2 職員一人一人が見通しと目標を持って仕事に立ち向かい、自らの成長への願いと力量を高めていくことのできる職場づくりをすすめます。
- 3 利用者、家族、職員、役員など法人を構成する一人一人の意見が決定の過程に反映され、理解と納得のもとに実行に移していくことのできる組織運営をすすめます。
- 4 時代の変化や地域の要請に応えていくことのできる法人、施設として経営基盤の確立を求めつつ新たな事業展開をしていきます。

### 2. 情勢展望

新型コロナ感染の影響は、社会に様々な変化をもたらしています。法人の事業所としては、利用者の楽しみである行事や旅行が昨年引き続き中止となりました。障害があっても社会との接点を大切にしてきた活動ができなくなるといことは、利用者にとっても携わる職員にとっても大きな負担となっています。それでも、それぞれの事業所では、様々な工夫をして日々の活動をおこなってきました。また、東京都の感染対策も明確な指標がないなかでも生活寮は、障害のある人たちの暮らしを守るために活動を続けてきました。しかし、日本全国の感染状況が拡大してく中で、関係者の感染により、いくつかの事業所も活動を休止せざるを得ない状況になりました。新型コロナ感染への対策は一法人だけで対応できることではなく、改めて東京都及び自治体の責任ある対策を求めていかなければなりません。

新型コロナ感染が終息するまで、命と暮らしを守るためにあらゆる手段を使っていくことが大切だと考えています。

### 3. 法人事業

当法人も1997年に設立し今年で25年目を迎えます。設立当初から支えてくれたスタッフから次の世代へ引き継ぐことが大きなテーマとなっています。

わたしたちがめざす取り組みは、障害があってもこの地域で暮らし続けることができる仕組みづくりです。そして、事業所の立場から考えるのではなく、障害のある人たちの立場から暮らしやすい仕組みを考えていきます。

障害のある人にとって、地域で暮らすということは、様々なかかわりが持てることです。家族であり、友人であり、出身校の同級生、先生そして地域の

人々との交流などです。障害者総合支援法による障害者サービスは、障害のある人にとっての暮らしの一部の支援です。一事業所が成り立つだけでは、地域で暮らす仕組みにはなりません。障害のある人の生きてきた人生も含め様々な要素を取り入れていかなければなりません。この考えを前提として、法人としては、これまで以上に相談支援事業を充実させ、法人の事業所だけでなく利用されている一人ひとりの暮らしをとらえた支援をめざしていきます。

#### 4. 法人事業方針

##### (1) 一人ひとりの利用者に合わせた支援を行うために

引き続き新型コロナウイルス感染が拡大している中でも、障害のある人たちの暮らしを支援できる体制を作り上げていきます。そのためにも利用者とその家族、法人で働くスタッフとその家族、わたしたちの地域で暮らしている人たちを意識したつながりを大切にしていきます。また、新型コロナ対策として必要な手立てを自治体や東京都、国へ訴える運動もおこなっていきます。

##### (2) 人材確保と育成

新型コロナウイルス感染拡大によりスタッフの人材不足は、ますます進んできています。利用者への支援を守っていくために引き続き強力に取り組みます。そして、安定した運営を維持することで、法人全体のスタッフの協力関係による働きやすい環境を作り、新しいスタッフが増えても、継続して働ける職場づくりをめざします。

また、事業所間の連携を強化し、法人全体の利用者や家族、事業に目を向けることができる職員の育成にも力を入れていきます。人材確保の好循環を維持し、職員・スタッフ一人ひとりがこの事業に魅力を感じられ、あらたな人材確保ができるよう努力をしていきます。さらに、積極的に研修や見学など他法人とも協力して取り組みたいと考えています。

##### (3) 事務の一本化の実現と事業の連携

引き続き事務の一本化については、5事業所が連携して取り組んできています。また、毎月の事業実績やケース記録、スタッフ配置、常勤換算状況などを集団でまとめていくことで、それぞれの事業が法的根拠を維持していることを確認できる仕組みを充実していきます。

##### (4) 専門職との更なる連携

定期的に行われている担当者会議を今年度も充実させていきます。引き続き訪問看護事業所の看護師・作業療法士・栄養士などの専門職のアドバイスを共有することを大切にしていきます。また、相談支援事業を活用して専門職や他事業所の職員との連携会議を実施します。そのことで利用者の支援を一事業所だけで担うのではなく、チームで支援する仕組みを増やしていきます。

#### (5) 利用者・家族会の意見を反映

昨年度は新たな将来構想に向けて取り組む予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大で感染者への支援に追われ、利用者、家族そしてスタッフへのアンケートを実施することが出来ませんでした。今年度は、計画的に実施し法人としての方向性を確認できる年度にしていきます。

#### (6) なかまの家の改修

昨年は、なかまの家の家族会の協力で東久留米市議会に建物が老朽化の実態を訴えることができました。議会では継続審議となりましたが、引き続き改修及び建替えの必要性を訴え、利用者・家族が安全・安心して通える事業所を実現できるよう各方面に働きかけ実現を目指していきます。

### 5. 事業方針の具体化

今年度も事業計画を確実に実行していくために以下の5部門で分担を行い具体化に努めていきます。

- (1) 法人本部…法人本部として全体の責任を持つ
- (2) 通所部門…成人期の日中の活動を中心に3つの事業所を束ねていく部門
- (3) 生活寮部門…4つのユニットの運営に責任を持つ部門
- (4) 余暇・居宅・相談部門…学齢期の子どもたちの支援を中心に活動することと相談支援に対応する部門
- (5) 事務部門…各事業所及び本部事務に責任をもつ部門

### 6. 法人運営計画

#### (1) 法人役員

##### 1) 理事・監事

ア. 定数 理事7人 監事 2人

イ. 任期 令和3年6月～2年後の定時評議員会終了まで

##### 2) 評議員

ア. 定数 8人

イ. 任期 令和3年6月～4年後の定時評議員会終了まで

##### 3) 評議員選任解任委員

ア. 定数 3人

イ. 任期 令和3年6月～4年後の定時評議会終了まで

##### 4) 法人事務局員 2名

(2) 職員体制

		常勤（上段）					
		非常勤（下段,カッコ内の数字はパート）					
		施設長	サビ管	主任	支援員	事務	小計
日中支援部門	のぞみの家	1	1	1	4	1	8
					3(2 5)	(1)	3 (2 6)
	かなえ	①	①	2	5		7
					3 (1 9③)	1 (2)	4 (2 1③)
なかまの家	①		1	3		4	
				1 (6②)	1	2 (6②)	
生活寮部門	うみ	1	1	1	2	1	13 (16)
					(9)		
	1			2			
				(2)			
そら		1	2 (欠1)				
にじ				(2)			
	1	1	1 (欠1)				
かぜ				(3)			
	余暇・居宅・相談部門	①	1	1	1		3
このみ	放課後				1 (13)	((①))	1 (1 4)
	日中移動						2
相談支援						1 (5)	
	①					1	
	①			①	((① )	1 (1)	

※○に数字は兼任 欠は欠員

※サビ管はサービス管理責任者の略

※かなえ＝活動センターかなえ

※放課後＝放課後等デイサービス

※日中＝日中一時支援事業

※移動＝移動支援事業

※相談支援＝イリアンソス相談支援センター

事業所名	定員							現員	備考
	日中 部門	生活寮 部門		余暇・居宅 相談部門					
	生活 介護	生活 援助	短期 入所	放 デイ	移動 支援	日中 一時	相談 支援		
のぞみの家	20							25	
かなえ	40							27	
なかまの家	20							14	
生活寮そら		28						28	
短期入所			2					2	1日の定員
このみ				10				36	
					※1 -			56	登録者数
						※2 5		56	登録者数
相談支援							52	52	依頼件数
部門別 定員合計	80	28	2	10					

○「かなえ」→「活動センターかなえ」

○生活寮の定員は、7名の4ユニットの合計

○このみの「定員10」は、1日の定員数・「現員36」は登録者数

※1 移動支援の定員は設定なし・「現員54」は登録者数

※2 日中一時の「定員5」は同時サービス利用者の定員数・「現員54」は登録者数

○相談支援は、モニタリング・利用計画を含む

(3) 理事会・評議会開催計画

1) 理事会

ア. 第1回理事会：令和4年6月9日

事業報告(案)

決算報告(案)

監査報告

評議員会開催

イ. 第2回理事会：令和4年9月15日

補正予算(案)

ウ. 第3回理事会：令和4年12月15日

補正予算(案)

エ. 第4回理事会：令和5年3月23日

補正予算（案）

事業計画（案）

当初予算（案）

2) 評議員会

ア. 第1回評議員会：令和4年6月24日

事業報告の承認

決算報告の承認

イ. 第2回評議員会：令和5年3月23日

補正予算の報告

事業計画の報告

当初予算の報告

(4) 法人会議計画

1) 部門長会議 月1回 理事長、部門責任者、事務部門責任者

事業計画に基づいた事業運営における情報共有及び課題解決に責任を持つ

2) 法人事務局会議 月2回 理事長、各施設管理者

法人運営を中心に実施

(5) 家族会

法人全体家族会と学習会を実施します。築24年のなかまの家建物の改修について、引き続き家族会が中心に担当課や各方面へ働きかけていきます。

(6) 研修計画

通所職員は、リモート研修も含め所属施設長と相談しながら最低2日は研修会に参加することを徹底します。生活寮は専門家を招き様々な視点から実践を振り返りながら生活の場での利用者支援の在り方について学習する機会を設定します。法人研修では、感染状況を見ながら対面やリモートでの研修を開催します。

1) 新人職員研修：年度の途中に採用された職員も

ア. 法人の歴史と理念と目指すもの

イ. 法人職員として大切なこと

ウ. 各事業所のとりくみと大切にしていること

エ. 現場見学または実習の講座を行います。

2) 法人職員研修：施設長とサビ管が中心になり必要な研修内容を企画します。

3) 虐待防止研修：虐待防止委員会が中心となり東京都の「権利擁護と虐待防止研修会」に全事業所が申し込み参加するとともに職場へのフィードバックをおこないます。



- 4) 担当者会研修：担当者会でテーマに応じた研修会をおこないます。  
5) 法人内施設長研修：法人内他事業所に1~2週間勤務し、事業所のとりくみを把握して今後の法人運営に役立たせます。

(7) 施設整備計画

1) のぞみの家

ア. 外壁工事 (外部改修工事)

のぞみの家の外壁にあるタイル、山田うどん側3階から4階に行くための階段にある窓の部分のクラック工事をおこないます。

見積金額 7, 884, 000円

【内訳】工事費用 7, 300, 000円

消費税額 584, 000円

イ. エレベーター工事

のぞみの家建設時に導入したエレベーターの交換工事です。現行の基準に該当していませんが、メンテナンス等を行うことで稼働させることが出来ています。耐久年数は、17年前後・実働的には20年前後との事でした。また、工事期間は1週間から2週間前後となるとの事です。その間の活動の保障も含めて、かなり大規模の工事になります。

見積金額 23, 760, 000円

【内訳】工事費用 22, 000, 000円

消費税額 1, 760, 000円

ウ.LED 電気交換

館内の蛍光灯の不具合箇所が多数あります。活動や健康観察においても支障が出る場面があります。蛍光灯電気をLED電気に交換します。

見積金額

【内訳】工事費用 1, 100, 000円

消費税額 100, 000円

エ. 非常用電源

設置後、20年が経過しようとしています。近年エンジントラブル・基盤トラブルの修繕が多くなっております。本体の交換を考えています。

見積金額 12, 000, 000円

【内訳】工事費用 12, 000, 000円

消費税額

2) 活動センターかなえ

ア. 修理工事

かなえが建設してから7年経過し、修繕が必要なところが扉など含め複数箇所出てきています。そのため、今年度は必要なところを修繕していきます。

見積金額 500, 000円

### 3) なかまの家

#### ア. 修繕・改修

昨年度家族会から建物の修繕について担当課へ働きかけをしています。担当課とも年度初めに確認し協議しながらおこなっていくことになっていきますので計画性をもってすすめていきます。

### 4) 生活寮

#### ア. そら浴室 クロス貼り替え

見積金額 250,160円

【内訳】 工事費用 238,160円

養生費 5,000円

残材処分費 7,000円

### 5) このみ

#### ア. 健康管理の為の備品購入(テント)

庭には日を遮るものが少ないので、利用者の健康管理の為にテント(日除け)B配分を使い購入を進めて行きます。

総事業費 269,000円

【内訳】 配分申請額 200,000円

自己負担額 69,000円

### 6) 事務部門

なし

#### (8) 職員採用計画

令和4年度は新卒募集について採用コンサルを導入して進めてまいります。また、中途採用も含め、事業計画に則った計画的採用をしていきます。

(9) 事業所別利用状況

1) のぞみの家

身体障害者及び知的障害者		愛の手帳（知的障害）						
		1度	2度	3度	4度	なし	合計	
身体障害者手帳	1種	1級	4	6		3	2	15
		2級		4				4
		3級						0
		4級		1				1
	2種	5級		3				3
	なし						1	1
	合計		4	14		3	3	25
区分6	区分5	区分4	区分3	区分2	区分1	合計		
21	2	1	0	0	0	24		

2) 活動センターかなえ 新入所者一人は不明

身体障害者及び知的障害者		愛の手帳（知的障害）						
		1度	2度	3度	4度	なし	合計	
身体障害者手帳	1種	1級		1	1			2
		2級		1				1
		3級		1				1
	2種	2級						
		3級						
		4級		1				1
	精神				1			1
	なし		1	14	5	0		20
	合計		1	17	7	0	0	25
区分6	区分5	区分4	区分3	区分2	区分1	合計		
12	9	5	0	0	0	26		

3) なかまの家

身体障害者及び知的障害者		愛の手帳（知的障害）						
		1度	2度	3度	4度	なし	合計	
身体障害者手帳	1種	1級		2	1			3
		2級		1				1
		3級		1				1
	2種	2級						0
		3級		1				1
		4級						0
	なし		8				8	
合計		13	1			14		
区分6	区分5	区分4	区分3	区分2	区分1	合計		
12	1	1	0	0	0	14		

4) 生活寮

身体障害者及び知的障害者		愛の手帳（知的障害）						
		1度	2度	3度	4度	なし	合計	
身体障害者手帳	1種	1級	1	5	1	3		10
		2級		3				3
		3級						0
		4級						0
	2種	4級		1				1
		5級						0
	なし		1	10	2	1		14
合計		2	19	3	4	0	28	

区分6	区分5	区分4	区分3	区分2	区分1	合計
23	4	0	0	0	1	28

5) このみ(放課後等デイサービス・日中一時・移動支援含む)

身体障害者及び知的障害者		愛の手帳 (知的障害)						
		1度	2度	3度	4度	なし	合計	
身体障害者手帳	1種	1級		2				2
		2級		1				1
		3級			1			1
		4級			1	1		2
		5級						
	2種	1級						
		2級			1			1
		3級						
		4級	1					1
		5級						
	精神2級						2	2
なし		0	12	15	14	12	53	
合計		1	15	18	15	14	63	

区分(放課後等デイサービス利用者36名)

区分6	区分5	区分4	区分3	区分2 (該当なし)	区分1 (該当あり)	合計
0	0	0	0	7	29	36

(10) 担当者会

1) 防災環境

ア. ヒヤリハット・事故報告書の共有

各事業所から報告されるヒヤリハットや事故報告書の内容を共有して、各事業所で防止策を検討します。

イ. 防災について

火災や地震だけでなく、大地震や水害なども想定し実践的な避難訓練を消防署とも連携しながら実施します。

ウ. 環境について

安心・安全な環境づくりを目指し、担当者が施設内を点検し管理者と共有するなど具体的に安全確認をおこないます。

## 2) 健康衛生

### ア. 情報の共有について

各事業所の課題（実態）を持ち寄り情報交換します。また利用者の姿を24時間包括的に捉えるため生活寮の担当者の参加や、専門職からの具体的な取り組みの提案など、法人全体の健康衛生に対する意識向上を目指します。

### イ. 保健衛生について

担当者が各々の事業所のリーダーとして感染症対策の最新の正しい知識を理解し、スタッフや利用者に対して迅速に情報提供できるよう学習していきます。

### ウ. 健康について

高齢化、食事の提供、口腔ケア、医療(利用者の通院状況)などについて、各事業所での取り組み状況や課題を出し合い、情報交換し今後の支援につながるよう話し合いを積み重ねます。

## 3) 車両送迎

### ア. 安全運転について

各事業所に安全運転管理者を設置します。安全運転業務管理をおこない、事故防止に努めます。事故訓練の継続と冬期走行の為の準備を計画的におこないます。

### イ. 車両管理と購入について

車両管理表を用いて日常的に点検を実施して長く安全に車両が維持できるよう努めていきます。引き続き、助成金やリースを活用しながら車両配備を検討していきます。

## 4) 広報部会

### ア. ホームページ掲載について

ホームページの事業所紹介を充実させていきます。写真と共に動画も活用しながら作品展や行事の様子を発信していきます。

### イ. 内容の充実について

会員に対してアンケートや感想を聞きながら内容に反映していきます。新たな意見や視点を取り入れながら、多くの人に見てもらえる内容としていきます。

## 5) 虐待防止委員会

### ア. 具体的な取り組みをおこないます

2022年4月より委員会が設置義務となりました。各事業所の委員と連携しながら具体的な虐待防止策をおこなっていきます。全従業員への研修等を通して虐待防止と権利擁護に対する意識を高めていきます。



## 第2 事業別計画

### 1. 日中支援部門

#### (1) 重点課題

- 1) 喫茶事業は利用者の働く時間を増やすとともに、地域の方々の憩いの場として新型コロナ感染防止に努めながら継続して開店できることを目指します。
- 2) 利用者の健康管理や身体機能保持のため看護師をはじめ OT や PT の安定した配置を目指します。
- 3) 各担当者会を軸に利用者の安全や安心を保障できる環境づくりを進めます。引き続き、生活寮やこのみにも情報提供や各会議に参加できるように工夫します。
- 4) 職員は障害のある人の権利擁護をはじめ発達の課題や障害特性、加齢にとりもなう配慮について学ぶため、積極的に研修の参加や報告をおこないます。
- 5) 各事業所の施設長とサービス管理責任者は法人利用者の状況や活動内容の確認など常に事業所課題を共有し実践を高めていけるようにします。

#### (2) 各事業所の計画

##### 1) のぞみの家

###### ア. 重点課題

(ア) 会議の目的を明確にして決定事項を支援に反映していきます。

会議の開催が目的とならないよう内容を整理して実施します。会議で決定されたことが実行されているか振り返りを大切にしていきます。

(イ) 利用者の健康維持のために他機関と連携していきます。

日々の健康観察や記録を基にしながら専門職と連携してきます。障害特性等の学びを深めていき、客観的な視点を取り入れながら健康維持についての支援を考えていきます。

(ウ) 利用者の権利擁護、尊厳についての学びを深めていきます。

個別支援計画を軸にしながら利用者の権利や虐待防止についての話し合いを全従業員でおこなっていきます。それに関連する研修の参加と事業所内での研修報告会の定期開催をおこなっていきます。

(エ) 環境整備をおこないます。

ヒヤリハット、事故報告の迅速な提出をおこない、検証と分析を重ねて具体的且つ継続可能な再発防止策を実行していきます。利用者の目線になって、安心安全な活動環境を作っていきます。



## イ. 各班の重点課題

### (ア) チャレンジドリームズ班

ア) 仕事・活動を通して達成感、生きがいを感じます。

日々の仕事に安心して集中できる環境作り、各々が責任を持って取り組める仕事内容を考えます。またカレンダーを通して予定を把握し各々で仕事を進めます。利用者の主体的な取り組みが達成感や生きがいへとつながります。

イ) 仲間を認め合う班作りをおこないます。

仕事の担当を分けて取り組んでいるため、それぞれの仕事の成果を発表し、互いに理解し、認め合えるような場を作ります。また各々の意見や思いを伝えられるよう定期的に自治会を開きます。

### (イ) 元気なたんぽぽ班

ア) 個々の状態に合わせた健康づくりをおこないます。

歩行や体重など、年齢とともに健康上の課題が少しずつ浮かび上がっています。永く自立歩行するためのフットケアや便秘解消のためのケアなど個々に必要な支援を専門職と連携しておこないます。

イ) 見通しの持てる活動を通して、主体的な姿を引き出します。

見通しを持って安心して取り組めるよう、写真の活用や伝え方など利用者にとってのわかりやすさをていねいに考えます。

### (ウ) おひさま班

ア) 絵画活動を通して社会参加します。

それぞれの機能が発揮できる絵画方法を模索することで、全身で思いを絵画に表現します。また、展示先の開拓をして、地域に絵画を広げる機会を増やします。それにより、やりがいをもって絵画に取り組むことが期待されます。

イ) 専門家や家庭、寮と連携を取りながら健康管理、機能維持に努めます。

年齢を重ねていくことにより体の変化がみられます。正確な情報を家庭や寮と共有し、24時間を通してていねいな健康管理をおこないます。また、機能維持のために専門家からの意見も共有します。

## ウ. 仕事

### (ア) 自主製品 目標金額 150,000円

商品価値を高める努力をし、多くの人の手が届く製品作りを行います。物品販売や作品展だけでなく地域での展示・販売先を増やします。また、新たに販売できる製品を開拓してきます。

### (イ) ケーキ・喫茶 目標金額 400,000円

地域での注文販売、カフェてんへの納品をおこないます。製造環境を整え、商品の安全性を高めます。利用者主体で製造販売を進めます。

### (ウ) お茶・ふきん 目標金額 110,000円

お客さんのニーズに応じた商品の仕入れをし、担当者中心に販売活動を行います。商品のよさを伝えることに力を入れ固定客の拡大を目指します。

(エ) おむつ 目標金額 900,000円

担当職員と連携して、お金のやり取りミスがないようにします。

(オ) 業務委託 目標金額 20,000円

定期的な仕事になるよう埼玉福社会と連絡をとり、入力・見直し・納品がスムーズにいくような作業工程を考えます。またチラシ配り等新たな仕事の受注が出来るよう働きかけます。

(カ) きょうされん物品販売 目標金額 2,100,000円

お客さんとのやりとりをていねいに行い、人とかかわりの持てる仕事として利用者主体で取り組みます。

(キ) 資源回収 目標金額 10,000円

回収先を拡大し地域とのつながりを持つことを目的の一つとします。身体を動かしながら仕事をし、定期的に卸作業に行きます。

(ケ) リサイクル店 目標金額 10,000円

利用者の体調を考慮しながら開催時期を検討します。少人数での開催など、工夫をしながら利用者主体で進め、やりがいのある仕事として継続します。

## エ. その他の活動

(ア) 機能訓練

理学療法士と相談しながら個別のストレッチプログラムを作成し、実施方法を共有します。身体の変化や新たな課題に伴い見直しをおこないます。

(イ) 給食

加齢に伴う健康状態の変化がみられます。利用者の健康に配慮した献立になるようメニュー、調理方法の見直しをおこないます。

(ウ) 旅行

感染状況を鑑みながら旅行等の計画をおこなっていきます。

(エ) 作品展

日々の創作活動の積み重ねが発表できる場となるよう利用者中心に準備開催していきます。誰もが見やすい展示を考えていきます。

(オ) 地域行事

感染状況を見ながら特別支援学校の祭り参加を検討していきます。

(カ) 実習生

介護等体験・介護福祉士・社会福祉士の学生を受け入れます。実習ノートを確認しながら振り返りを丁寧におこなっていきます。

(キ) ボランティア

社協と連携しながらより多くのボランティアに参加してもらえるようにします。日頃の感謝を伝えられるような場面を作っていきます。

(ク) 研修

研修報告が実践に活かせるよう研修報告会を実施します。虐待防止に関する研修をパートスタッフ含めた全職員で開催していきます。

オ. 消防計画

毎月の地震訓練を実施していきます。消防署と連携しながら定期的な訓練が実施できるようにします。

カ. スケジュール

(ア) 1日

時 間	おひさま班・元気なたんぽぽ班 チャレンジドリームズ班	スタッフ
8 : 3 0		朝礼
8 : 4 0		送迎開始及び受入れ準備
9 : 0 0	受入れ	活動支援
10 : 0 0	各班で朝の会・ラジオ体操 室内作業 外作業 (休憩) 室内作業 外作業	
1 2 : 1 5	昼食・休憩	昼食支援
1 3 : 3 0	チャレンジドリームズ班 活動開始	活動支援
1 4 : 0 0	おひさま班・元気なたんぽぽ班 活動開始 室内作業 外作業	
1 5 : 0 0	帰りの会	
1 6 : 0 0		送迎 掃除
1 7 : 0 0		終礼

(イ) 1週間

	月	火	水	木	金
午前	資源回収 和紙作り 絵画 売上計算 ケーキ作り	資源回収 和紙作り 絵画 売上計算 ケーキ作り	資源回収 和紙作り 絵画 売上計算 ケーキ作り	資源回収 和紙作り 絵画 売上計算 ケーキ作り	レク (月1回は 外出レク)  調理 散歩
午後	ストレッチ ケーキ作り ダンス	ストレッチ ケーキ作り ボーリング	ストレッチ ケーキ作り トランポリン	自治会 ケーキ作り ボールプール	

(ウ) 1年間

	のぞみ内 行事	地域行事
4月		
5月	利用者健康診断	
6月		国際美術大賞展
7月	きょうされん 夏季物品販売	特別支援学校夏祭り
8月		東京都障害者美術展
9月		いのちかがやけ作品展
10月		地域センターまつり
11月	きょうされん冬季物品販売	特別支援学校文化祭 青少協まつり
12月	のぞみの家作品展	
1月		
2月	きょうされんバレンタイン物品販売	ぴゅああーと展
3月	きょうされんホワイトデー物品販売 がんばろう会 (のぞみ屋外で焼肉)	

※旅行の実施の有無と形態については検討。



## 2) 活動センターかなえ

### ア. 重点課題

(ア) 利用者の増加を見通し、班構成や部屋の使い方、机や椅子の配置などを見直します。

1名の新入所者を予定しておりさらに年度内にもう1名の受け入れができるようにします。

(イ) 常勤スタッフを1名採用します。

(ウ) 喫茶で働くことができる利用者の増加に向けて、引き続き実習などの機会を設け、いろいろな利用者が関わられるようにします。

### イ. 各班の重点課題

(ア) なのはなグループ

ア) 落ち着いて活動できる環境をつくります。

利用者一人ひとりにあった活動環境を整え、落ち着いて活動ができるように支援します。

イ) 創作活動を充実させていきます。

定期的に絵画活動に取り組んでいます。絵画の世界が広がるよう、気持ちを表現できるよう筆やブラシ、クレヨンや絵の具など使用する道具を工夫していきます。またコンクールや作品展に応募していきます。

ウ) 健康の維持・改善 身体機能の維持・改善を図ります。

定期的に体を動かす時間を取り、ウォーキングやストレッチを行います。また医療やリハビリなど専門家と連携し体調を把握した上で必要に応じて活動内容の見直しも検討していきます。

エ) 昼休みはゆっくりと身体を休めます。

外に出たの散歩や雑誌・絵本を見て過ごすなど、それぞれが思い思いに過ごせるようにします。

(イ) だるま班

ア) 自己表現できる活動として創作活動を充実させています。

利用者本人が希望した画材や色を使用できるように創作道具を充実させます。楽しい気持ちで自己表現できるように肯定的な声掛けをおこなっていきます。

イ) 『グッズデザインコンクール』『ぴゅああーと展』などの作品展に応募します。また発表する場として今年度も『作品展』を開催します。

ウ) 和紙作りの作業を分担しながら取り組みます。

牛乳パックちぎりから紙すきまでの工程を、班全体で取り組んでいます。各利用者が取り組んでいた内容にこだわらず、他の利用者が取り組んでいた工程への挑戦や、新たな作業を検討し、利用者が積極的に活動に取り組む事を目標とします。現在、はがきや付箋などに加工して販売しています。新製品についても検討していきます。

エ) 積極的に身体を動かす活動に取り組みます。

健康的な体重を目標に広報配布や空き地整備以外にも積極的にウォーキングなどに取り組んでいます。

オ) 有意義に昼休みを過ごします。

パズルやボール遊び、ゆっくり過ごすなど一人一人が有意義に過ごせるように環境設定、見守り支援を行います。

カ) プール

月に1度プール活動を行ないます。新型コロナウイルス感染症の感染状況によっては変更、中止も検討します。

(ウ) ちゅーりっぷ班

ア) 利用者同士の関わりを大切にしながら、落ち着いて過ごせる環境をつくります。

利用者同士の交流を通して、和やかな雰囲気作りをします。

イ) 野菜作りに取り組みます。

昨年度は9種類の野菜を育てました。今年度より Café てんなどで販売スペースを作成します。料金箱を設置して販売し、収入に繋げていきます。

ウ) 手芸・創作活動に取り組みます。

利用者の希望を聞きながら手芸や創作活動に取り組みます。発表する場として事業所の作品展や販売会、その他グッズデザインコンクール、ぴゅああーと展などに出品します。

エ) 身体機能の維持・改善を図ります。

専門家（医師・OT・看護師・栄養士など）と連携して利用者の健康維持に努めます。

(エ) スマイル班

ア) 仲間同士の関わりを大切にしながら、落ち着いて過ごせる環境をつくります。

利用者同士の交流を通して、新しい環境に慣れていけるよう和やかな雰囲気作りをします。

イ) 自主製品を作製し、販売会を開催します。

利用者に何を作りたいか希望を聞きながら手芸・さき織り・布巾作りに取り組みます。販売会では、製品に加工し販売します。

ウ) 創作活動に取り組みます。

創作活動の時間を設けます。またスマイル班用に画材などを購入します。発表する場として事業所の作品展、その他グッズデザインコンクール、ぴゅあアート展などに出品します。

エ) 外活動に参加します。

身体を動かす時間を設けます。ウォーキングで身体を動かします。

オ) 身体機能の維持・改善を図ります。

専門家（医師・OT・看護師・栄養士など）と連携して利用者の健康維持に努めます。

カ) 有意義に昼休みを過ごします。

利用者同士の交流などを大切にします。また、安全に過ごすことができるように見守り支援をおこないます。

ウ. 仕事

売り上げ目標金額と取り組み内容

(ア) 資源回収・おろし 目標金額 150,000円

新たな回収先を開拓し、回収量を増やしていきます。

(イ) 市報配布 目標金額 300,000円

一軒一軒確実に配布できるように配布場所を確認し、情報共有や地図に色を付けるなど、分かりやすいように工夫をします。

(ウ) 自主製品 目標金額 70,000円

利用者の創作活動の絵を台紙に使用しラッピングして販売するなど、利用者の日々行っている仕事が、収入につながるよう自主製品の品質を高めていきます。また利用者増に伴い、額を購入します。年間を通して計画的に製品づくりができるよう取り組みます。

(エ) 空き地の整備 目標金額 111,120円

市より委託を受けて、かなえに隣接する空き地の整備をおこないます。

作業資材の収納箱を購入し、作業の円滑化に取り組みます。

(オ) 物品販売 目標金額 850,000円

きょうされん物品販売のカタログを利用し年4回取り組んでいます。毎回利用して頂けるお得意様が少しずつ増えてきています。引き続き継続的に利用して頂けるよう取り組みます。去年は物品購入者へ利用者の書いたお礼状等を作成できなかった為、来年度はお礼状を作成し、新規先の獲得・継続的な利用に繋げるように努めます。また利用者の仕事にも繋げていきます。目標金額を決めて、みんなで目的を共有し取り組んでいきます。

(カ) 喫茶

衛生面に細心の注意を払い、利用者のできる事を広げつつ清掃や接客などの仕事ができるよう支援します。喫茶で働いている利用者は接客に慣れることを目標に、他の利用者は活動の中でcaféてんの仕事に慣れる事を目標に取り組んでいきます。

エ. その他の活動

(ア) レク・調理

レク活動は月に1回、調理活動は4ヶ月に1回のローテーションで班毎に取り組みます。新型コロナウイルス感染症の感染状況に応じて、レク・調理の内容を検討します。



#### (イ) 旅行

新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえ、今年度は班ごとの日帰り旅行を企画します。利用者の健康と安全を最優先に考え検討します。実施するにあたり自治会で利用者の意見を取り入れながら話し合っ計画します。

#### (ウ) クラブ活動「フラワーセラピー」

自治会で確認しながら2ヶ月に1回フラワーセラピーを楽しみます。ボランティアの先生には新型コロナウイルス感染症の状況を見ながらご指導いただきます。

#### (エ) 散歩・ウォーキング

散歩では外の空気を吸いのんびりと歩く事で気分転換につなげます。ウォーキングは一定のペースで歩く事で体を動かし体力維持につなげます。休憩時間や活動の中で取り組んでいきます。

#### (オ) 昼食

利用者の健康を考え、ご家庭と相談し昼食弁当の配慮を行います。また利用者の要望で月に2回給食を作って提供します。カレーやシチューなど旬の野菜を入れ、季節が感じられる献立を考えます。

#### オ. 消防計画

避難訓練は、毎月一回行います。地震・火災訓練を交互におこないます。職員と利用者で身の安全の確保や避難経路の確保などを中心におこないます。総合訓練を計画し、全体で連携して行います。火災装置など誰でも扱えるように分かりやすいマニュアルを作成していきます。半年に一度、非常食を食べる訓練をおこないます。

カ. スケジュール

(ア) 1日

時 間	なのはなグループ・だるま班 ちゅーりっぷ班・スマイル班	スタッフ
8:30		朝礼
8:40		送迎開始
9:00		準備・会議等
9:30	受け入れ開始	受け入れ支援
10:30	朝の会・ラジオ体操 室内作業 外作業 (休憩)	活動支援
12:00	室内作業 外作業 昼食・休憩	昼食支援 片付け・活動準備
14:00	室内作業 外作業 (休憩)	活動支援
15:00	室内作業 外作業	
15:00	帰りの会	
15:30	送迎準備	
15:45	送迎	送迎・片付け
16:00	帰宅	会議
17:00		終礼

(イ) 1週間

	月	火	水	木	金
午前	外作業 資源回収 室内作業 ウォーキング	外作業 室内作業 ウォーキング ※調理	外作業 資源回収 室内作業 ウォーキング	外作業 室内作業 ウォーキング	外作業 室内作業 ウォーキング ※レク
午後	外作業 資源おろし 室内作業 創作 ウォーキング ストレッチ Cafe てん仕事	外作業 創作 ウォーキング ※自治会	外作業 資源おろし 室内作業 創作 ウォーキング Cafe てん仕事	外作業 室内作業 創作 ウォーキング ストレッチ	外作業 室内作業 創作 ウォーキング ※レク

- ・外作業…広報(チラシ)配布、空き地整備
- ・室内作業…和紙製作、さきおり、手芸、広報(チラシ)折り
- ※自治会…週1回実施 ※調理…月1回実施 ※レク…班毎に月1回実施

(ウ) 1年間

月	事業所内の行事	地域などの行事
4月	歓迎会	
5月		
6月	利用者健康診断 なのはなグループ日帰り行事※	
7月	だるま班日帰り行事※ きょうされん夏季物品販売	
8月	きょうされんデザインコンクール作品応募 夏季休業	
9月	ちゅーりっぷ班日帰り行事※	いのちかがやけ作品展
10月	新入所者・成人を祝う会(法人全体) 「わたしたちの作品展」開催※ スマイル班日帰り行事※	きょうされん全国大会
11月	きょうされん冬季物品販売 手づくり品販売会開催※	
12月	ぴゅああーと展作品応募、クリスマス会、 冬期休業	
1月	きょうされんバレンタイン物品販売	
2月		ぴゅああーと展
3月	きょうされん春季物品販売、ボーナス支給	

・毎月1回…各班レクリエーション、体重血圧測定、避難訓練、給料日

※印…会場の都合により日程変更あり

### 3) なかまの家

#### ア. 重点課題

(ア) 施設内の活動場所の工夫や活動内容の検討をします。

感染拡大防止のため小集団で活動しますが、小集団だからこそしっかりと取り組める反面、取り組み回数が減少した活動もあります。利用者の姿を捉えながら積極的に内容・回数の変更や新しい活動を取り入れていきます。

(イ) おいしく安全に給食を提供できるようにしていきます。

栄養士など専門職と連携しながら一人ひとりにあった食形態・食具で給食を提供します。温かい給食の提供について引き続き検討していきます。

(ウ) 建物の修繕・改修箇所を提案し必要があれば施設整備します。

市から貸与されている築24年の事業所の建物について、昨年度家族会から市へ利用者・家族が安全・安心して通える事業所を実現できるように働きかけています。年度当初、担当課と老朽化の実態を確認し修繕や改修の提案をしています。必要があれば事業所で施設整備をしています。

(エ) 活動や業務は、担当者が中心になって実行します。

年間計画を作成し実施します。各活動のガイドラインは支援の共有化・組織化を図るために活用します。また振り返りや提案など会議で積極的に行います。担当者が中心になり協力しながらおこないます。

(オ) 職員の研修

利用者の支援につながるよう、また職員の専門性を高めるために、また最新の情報を得るためにも年間計画をたて積極的に研修します。

#### イ. 各班の重点課題

感染症拡大防止のため、班ごとではなく更に小さい集団で活動します。そのため班ごとではなく活動全体の重点課題にしています。

(ア) 一人ひとりのペースに合わせて活動出来るように、活動ごとのガイドラインを活用します。支援の内容・方法を共有し組織的に支援をおこなえるようガイドラインの更新を定期的におこないます。

(イ) 積極的に体を動かし気分転換します。また、嘱託医やPTなどの専門職と連携し、身体機能の維持やリラクセスのためのマッサージ等もおこないます。

(ウ) 活動終了時には取り組んだ内容を発表しみんなで達成感を共有します。

#### ウ. 仕事

##### 売り上げ目標金額と取り組み内容

(ア) 資源回収 目標金額 140,000円

回収を通して地域とのつながりを大切にします。回収先の件数が曜日によって偏りがあるため調整を行いません。回収した物の目隠しカバーを購入します。

(イ) 缶つぶし 目標金額 卸し先が「資源回収」と同じため資源回収に含む。週に1回の作業から週に数回の作業に増やしていきます。缶の量が減っているため昨年度に引き続きチラシを配布します。缶つぶし機のカバー、回収カゴのカバー、固定ベルトの買い替えをします。

(ウ) パック整理・卸し 目標金額 12,000円

回収してきたパックをコンテナに入れる作業を利用者と一緒に行なっていきます。パック卸しの日程を指定し月1回定期的に行えるようにしていきます。

(エ) 市報配布 目標金額 300,000円

配布する前に配布する物とエリアの確認をします。個々の支援のガイドラインを活用します。また、定期的に見直しをおこない支援の共有化を図ります。

(オ) チラシ配り 目標金額 10,000円

市内のチラシ配りの下請け配布をおこないます。スケジュールを作成し会議で期間、行程、進捗状況の確認などおこないます。また、配布物の保管場所、管理方法についても周知していきます。

(カ) 自主製品 目標金額 50,000円

販売会…販売会にて自主製品の販売をおこないます。感染症の状況により、会場販売またはカタログ販売をおこないます。

【手芸】 刺しゅう製品を作成し販売します。必要に応じて材料などを購入します。また在庫のあるビンオープナーのチラシを配布し売上につなげます。

【陶芸】 昨年に続き、干支の置物を作成し販売します。昨年度は壁掛け用の花瓶、掛花を作成しました。先生と相談し、販売する製品を検討し制作します。

(キ) ポーナスへの取り組み 目標金額 900,000円

カタログの配布エリアを検討し、新規のお得意様獲得を目指して取り組みます。利用者が歩いて配布しに行ける場所に設定し継続して配布します。

(ク) 授産販売(お茶・ペーパー・布巾) 目標金額 310,000円

お茶の販売については年4回の販売に向けて計画的に行ない安定した収益を目指します。また、トイレットペーパーと布巾については、昨年課題としてあった、値段の見直しをおこない販売の意義や目的についての再検討をおこないます。

## エ. その他の活動

(ア) 自治活動

雰囲気作りを大切に写真や絵・動画など使い視覚から分かり易い工夫をおこないます。感染症拡大防止のため、小集団での給料渡しや「どんどん会(自治会)」を行うことも視野に入れ実施の方法を検討します。

(イ) 創作活動

作品展…利用者の日々の創作活動の発表の場として、作品展を開催します。昨年度はホームページ上開催しませんでした。会場での開催を目指しますが、感染症の状況を見ながら開催方法を検討します。

【陶芸】工房の先生と相談し年間計画を作成します。必要があれば粘土やその他道具の購入をします。ろくろでの作品作り、作品にできなかった固まった土を粘土に戻す作業など感触を楽しめる作業も取り組んでいきます。職員間で利用者の支援や制作内容の情報の共有をします。

【絵画】引き続きキャンパス地での重ね塗りをしていきます。年間計画の中に、個々のねらいや季節毎の取り組み、全体でひとつの作品を作る等、変化を盛り込みながら、表現する楽しさを感じたり、創作意欲が引き出せたりするようにします。環境面では、道具を分かり易く配置し、利用者が自ら選び易いように整理したり、色選びを主体的におこなえたりするよう色見本を作成します。必要な画材や収納品等新たに購入します。

#### 【手芸】

利用者が挑戦しやすいようそれぞれの利用者にあった織り機の作成や支援方法を工夫していきます。そのために必要な材料の購入をし、支援方法の検討や共有をしていきます。

#### (ウ) ウォーキング・プール活動

プール活動は感染症の状況を見ながら、再開することを視野に入れて準備をしていきます。感染症予防と安全を十分に考慮し、班編成などを検討していきます。ウォーキングについては引き続き密を避け感染予防対策を十分にしておこなっていきます。

#### (エ) 調理活動

感染症の状況を見ながら安全に活動出来る内容の検討と準備をおこないます。ガイドラインを見直し、感染症対策を盛り込んだ内容を改めて検討し可能な方法があるか検討します。

#### (オ) レクリエーション

年間計画を作成し、計画に沿ったレクリエーションを行います。3班に分け、それぞれのペースに合わせて内容を検討します。感染症拡大予防のため、状況を見ながら内容を検討し、利用者と確認しながら企画しおこないます。

#### (カ) 旅行

感染症の状況をみながら対策を行ない、利用者が普段できない経験や楽しい時間を作ります。早めに計画をしていきます。

#### オ. 消防計画

毎月1回避難訓練、通報訓練のいずれかをおこないます。年1回総合訓練を行ないます。訓練の計画を作成し実施した後に振り返りをおこないます。必要があれば消防に確認をしていきます。保存水ペットボトルのまま水が飲めない利用者があるため、非常時の水分補給用コップを購入します。

カ. スケジュール

(ア) 1日

時 間	りんご班・さくら班	スタッフ
8:30		朝礼
8:40		送迎開始
9:30	受け入れ開始	準備・会議等
10:00	朝の会・ラジオ体操 室内作業 外作業 (休憩)	活動支援
	室内作業 外作業	昼食準備
12:00	昼食・休憩	昼食・昼食支援・歯磨き支援 片付け・休憩
13:30	室内作業 外作業 (休憩)	活動支援
15:00	室内作業 外作業	
	帰りの会	送迎
16:00	送迎	片付け・清掃・会議
17:00		終礼

(イ) 1週間

	月	火	水	木	金
午前	・外作業 ・室内作業 ※プール	・外作業 ・室内作業	・外作業 ・室内作業	・外作業 ・室内作業	・外作業 ・室内作業
午後	・外活動 ・室内作業	・外作業 ・室内作業	・自治会 ・室内活動 ・外活動	・外作業 ・室内作業	・外作業 ・室内作業 ・散歩

・外作業…資源回収等、広報配布、買い物、散歩、プール

・室内作業…広報折り、創作活動、手芸、マッサージ・ストレッチ、調理活動

※プール、調理活動は新型コロナウイルス感染症の拡大状況による。

(ウ) 1年間

月	事業所内の行事	地域などの行事
4月		
5月		
6月	※日帰り旅行	
7月	きょうされん夏季販売（利用者ボーナス取組み） ※作品展販売会（予定） ※日帰り旅行	
8月	きょうされんデザインコンクール応募 ※全体レクリエーション	
9月	※利用者健康診断（状況により中止の場合あり） ※日帰り旅行	いのちかがやけ作品展
10月	※利用者健康診断（状況により中止の場合あり） ※新入所者・成人を祝う会(法人全体)	きょうされん全国大会
11月	きょうされん冬季販売（利用者ボーナス取組み） インフルエンザ予防接種	
12月	ぴゅああーと展作品応募、 ※全体レクリエーション クリスマス会	
1月	きょうされんバレンタイン販売	
2月		ぴゅああーと展
3月	きょうされん春季物品販売 ボーナス支給	

・毎月1回…レクリエーション、自治会、体重血圧測定、避難訓練、給料日

・班別旅行…日帰り旅行：日程・内容は未定（状況により変更の場合あり）

※印：日程・内容の変更あり





## 2. 生活部門

新型コロナ感染拡大により、スタッフの確保が難しい状況となっています。人材確保については、法人全体で考えていくことで両親のいない利用者を含め一人ひとりの暮らしを守る体制を作っていきます。また、両親の高齢化に伴い生活寮が担っていく支援の範囲が拡大してきています。例えば、医療面へのアクセス、金銭面の管理、福祉サービスとの調整など、暮らし全般にかかわることが多くなってきています。こうしたニーズをしっかりと受け止めていくためには、生活部門のみでかかわることは困難です。そのため、相談支援事業を充実させ連携して対応することが重要となってきています。今年度は、利用者支援についてこれまで通所事業所等とのやり取りだけでなく、相談支援事業を活用して利用者の情報共有を進め、寮での支援する仕組みと一人ひとりの暮らしを支援する仕組みを整理し対応していきます。

### (1) 重点課題

#### 1) 余暇

28名の暮らしが安定してきていることやコロナ禍でのステイホームの必要性の中で、暮らしのなかに利用者が楽しむことができるよう取り組んでいきます。

#### 2) 食事

食事宅配業者に献立と食材の選定・配達において委託をしています。献立においては、その業者内の栄養士に任せてはいますが、寮の一人ひとりのその時々に応じた健康状態に見合ったかたちでは、提供ができていません。年に1回話し合いの場を設けられるよう検討していきます。また業者や専門家の力もかりつつ、スタッフも知識を身につける学びの機会を増やし、食事の形態だけにとらわれない「食事の楽しみ」も、利用者本人の思いをくみとりながら追求していきます。

#### 3) 健康・医療

体温コントロールや排泄リズム、加齢を伴う体調変化など、日常の様子を丁寧に見守ります。日常の様子はもちろん、体調の急変時も、その情報をスタッフ間、事業所間で共有し、主治医など医療の専門職の意見も取り入れながら、客観的、多角的な視点をもって対応策を考えていきます。体調不良時の際は、通院同行や利用者にとって最善な「療養」の場としての寮利用についても、スタッフ体制を他事業所とも連携しながら対応できるようにしていきます。また研修(医療的)が受講できる体制を整えていきます。

#### 4) 防災

ユニットごとで利用者の障害の特性や個別のニーズに合わせた避難の仕方を考えていきます。年1回の消防団員が来た時の訓練では、消火器訓練を中心に計画をしていきます。防災管理については、防火・防災管理者講習の受講者を増やしスタッフ全体の防災意識を向上します。倉庫を活用して備蓄品確保や防災グッズの購入・個別の避難セットなどの整備をおこない緊急時に備えます。

## 5) 会議

定期的な会議をおこない、情報共有・意見交換の場を確保していきます。また、日中部門や移動支援の事業所との会議を設け法人全体の情報や余暇の共有も出来るような仕組みを作っていきます。またスタッフによる担当者会議への参加を確立できる環境を整えていきます。

## 6) 地域連携

地域の自治会活動への参加をめざしてきていますが、なかなか実行に至らない状況です。障害のある方に対しての理解や災害時等に地域の方にも協力をいただくためにも、引き続き検討し地域との連携を深めていきます。

## 7) 環境整備

災害に強い寮をめざして環境整備に力を入れていくために計画を検討し実施してしていきます。

### (2) 各事業所の計画

#### 1) 生活寮そら

##### ア. 重点課題

(ア) 生活環境を整えます。

入居者自身が自らの生活を作っていく環境づくりを大切にします。

(イ) 加齢に伴う健康・体調の管理を丁寧におこなっていきます。

事業所間の連絡事項を書面や電話での直接的な方法などを併せておこない、連携の強化をおこなっていきます。また、通院同行など、医療との連携を図ります。

#### 2) 短期入所

##### ア. 重点課題

(ア) それぞれの利用者のニーズに沿った支援をおこないます。

利用日や支援についてかかわるスタッフと情報を共有しやすい仕組みを作っていきます。

(イ) 60%の稼働率をめざします。

計画相談事業と連携をはかり、新たなニーズの掘り起こしを行います。1泊のみの利用だった利用者の連泊などを検討し利用日数の増加をめざします。

(3) スケジュール

1) 1日の流れ

時間	利用者	スタッフ
15:30		受け入れ準備
16:00	各作業所より帰寮・入浴	受け入れ・トイレ・入浴支援
18:00	夕食・余暇	夕食準備 夕食・歯磨き 余暇支援
21:00	リビング消灯・就床	就床支援
23:00		巡回
2:00		巡回
5:00		巡回
6:00	起床	起床支援・朝食準備
7:00	朝食	
9:00	各作業所へ	食事支援 洗面・送迎準備
10:00		送り出し・退勤

2) 年間行事

月	利用者	スタッフ
4月		
5月	長期休暇中、日中の楽しみ	健康診断
6月		
7月		
8月	お盆中、日中の楽しみ	
9月		モニタリング
10月		
11月		スタッフ面接実施
12月	クリスマス会	
1月		
2月		個別支援計画更新、健康診断
3月		

※誕生日献立は、寮にいる方みんなでお祝いします。

※責任者会議を週1度、ユニット会議と全体会議を定期的に月1度行います。

※消防訓練を各ユニットで行っています。



### 3. 余暇・居宅部門

#### (1) 重点課題

1) 実践会議(パート会議、職員会議を定期的で開催し、利用者の状態・状況を確認し合います。活動前の打ち合わせの際、各グループでの遊びや活動の情報、子ども達の最近の様子を共有していきます。

2) 各学校、子ども家庭支援センター、児童相談所、発達相談室、相談支援部門、医療機関と連携を図ります。

3) 家庭環境に課題のあるケースに関してはスピード感をもって関係機関との連携を図り支援していきます。またその際に得た個人情報管理を徹底していきます。

4) 障害が発見され悩んでいる父母をフォローし、行き場のない未就学児を積極的に受け入れて対応していきます。他の関係機関とやり取りが必要なケースの場合は速やかに会議を設けていきます。

5) 様々な理由で不登校になった子ども達が学校に行きやすい環境を作るまで関係機関と連携していきます。また、安心して過ごせる場を設けていきます。

6) 引き続き新型コロナウイルス感染予防対策には十分に配慮を行いマスク、手洗い、検温、消毒を行いまた定期的な感染予防対策の周知徹底を図ります。

#### (2) 各事業所の計画

##### 1) 放課後等デイサービス

###### ア. 重点課題

(ア) 関係機関と連携し、いつでもやり取りをすることが出来る環境を作ります。

発達相談室、教育相談室、児童相談所、こども家庭支援センター、医療機関、各学校、他事業所と子どもたちの活動や様子について情報を共有します。また関係機関とのやり取りはスピード感を持って、速やかにケース会議を開き、こどもたち一人ひとりに合った支援を見出し、安心して過ごせる場所を提供していきます。

(イ) 人との触れ合いの中で、社会性を身に付けながらスタッフと共に成長します。集団での遊びや集団生活を通して、約束やルールを守れるようにします。

遊びの中で楽しく学習すること、集団の中で手を使うことで操作性が身につくようにします。また、個別で遊ぶ場合でも同じ空間で一緒に過ごすことで相手を意識できるような環境作りもおこなっていきます。

(ウ) 生活していく上でごく普通と思われるような家庭的な活動(昼食作り、おやつ作りなど)を積極的に取り入れていきます。

こども達と一緒にメニューを考えたりレシピを作ったり準備します。将来を見据えて、自分で考えて作ることができるよう活動も工夫していきます。

長期休暇の時は、活動の時間にゆとりがあるのでこども達と昼食作りをして

いきます。学齢期という大事な時期の為にただ作って食べるだけではなく、食物形態、栄養、食べることの文化（季節の旬な食材を使用する）にも配慮をしていきます。また衛生面にも配慮していきます。

（エ）地域の人達と交流ができるように公共施設等に出掛け、行事に参加します。児童館など地域のこども達と遊ぶことができる環境を提供します。

様々な行事に参加し、多くの人と関わりが持てるようにします。

（オ）どのような事態でも安心して活動に参加できるようにします。

火災、地震などの避難訓練を定期的に実施します。また、手洗い・うがい・マスクの着用、検温などの予防といった環境整備を丁寧に行います。また、体調が悪くなり帰宅する場合、スムーズに保護者へ引き渡せることができるように日頃から家庭の状況を把握しながら緊急連絡先の整理もおこないます。

（カ）誰もが安心して利用できる「放課後等デイサービス」になるように事業所や関係機関とやり取りをおこなっていき情報の交換をおこないます。

放課後等デイサービスは、施設数の増加により安定した運営が困難な状況にあります。放課後連や市内事業所間で連携を密に行い最新の状況を確認していきます。引き続き、お互い協力しあい安定した運営をおこなえるようにしていきます。

## 2) 移動支援事業

### ア. 重点課題

（ア）法人内生活寮の方の支援を安定しておこなえるようにしていきます。

生活寮の担当者とも連携を密に行い余暇を楽しめるように支援をおこなっていきます。

（イ）利用者個々の支援方法を統一化します。

様々なスタッフが対面で支援をする制度です。利用者、スタッフも安心・安全・安定した支援活動がおこなえるように、ケース記録を残し、統一した支援ができるようにスタッフ間での情報提供を行おこないます。また、支援の目的を明確にしていきます。

（ウ）支援中での課題に備えてマニュアルやヒヤリハット報告書を各会議などで確認し合います。支援に生かしていきます。

屋外での活動が多い為、支援中のトラブルに落ち着いて対応できるように各会議で確認したり、掲示したり情報を共有していきます。

（エ）利用者の将来を見据えての支援をおこなっていきます。

利用者が将来、自分で登下校ができるように利用者本人が考えて行動できるような支援体制を整えます。また必要なときには、見通しが持ちやすくなるような、専用のカードなどのツールを作り支援に役立てていきます。

（オ）移動支援をさらに利用しやすくする為に関係機関とやり取りをおこないます。移動という生活の一部を安心・安全・安定に利用できる制度になるように事業所間で集まり情報交換や関係機関とやり取りをおこないます。

### 3) 日中一時支援事業

#### ア. 重点課題

(ア) 家庭環境に課題のある家族が安心して利用できる場を提供していきます。

日中一時は制度の中でも比較的申請すれば速やかに利用できる東久留米市の制度です。保護者と学校、その他関係機関と連携を取り、利用者の実態や家庭状況を把握し、個々に合った支援をおこないます。また、その際に得た情報は管理を徹底していきます。また、定期的に振り返りも行い支援に繋げていきます。

(イ) 利用者個々の支援方法を統一化していきます。

ケース記録を残し、統一した支援ができるよう、スタッフ間での情報提供をおこないます。

(ウ) 日中一時支援をさらに利用しやすくする為に関係機関とやり取りをおこないます。

様々な理由で利用が多くある制度です。安心・安全・安定に利用できる制度になるように他の事業所や関係機関とやり取りをおこないます。

(エ) 日中一時利用に関して安定した利用ができるように、定期的に制度についての説明と依頼表などの申し込み記入を利用者をお願いしていきます。

このみでもできるだけ分かりやすく説明できるように文章を作成し丁寧に利用時の説明をおこなっていきます。

#### (3) 消防計画

事前に計画を担当者が立て、職員みんなで話し合いながら定期的に避難訓練を進めていきます。そのため、訓練の内容・実施方法は、パート職員を含めて多くの人に伝える事で、このみ全体の防災意識向上につなげられるようにしていきます。また、避難訓練を実施した際にはレトルト食品をこどもたち自身で温めて食べるなど実践的な計画をおこない実施します。

また、東久留米市内の子ども達の利用が中心なので保護者が迎えに来るまでの水分やレトルト食品などの非常食も備蓄しておきます。また、備蓄品の管理も担当者だけではなく集団で確認をおこなっていきます。



(4) スケジュール

1) 1日

授業日		利用者	スタッフ
	10:00	学校、授業	職員出勤・朝礼
	～		事務・活動前準備等
	13:30	送迎、おやつ	パートスタッフ出勤
	～	活動(庭遊び、室内遊び、公園等)	送迎・活動
	17:30		
	17:30～18:45		送迎・家族迎え

休業日		利用者	スタッフ
	10:00		職員出勤・朝礼
	10:00	送迎・家族送り 活動(庭遊び、室内遊び、公園、昼食づくり等)	パートスタッフ出勤 送迎、送り対応 活動
	12:00	昼食	昼食
	13:30	午後活動(庭遊び、室内遊び公園等) おやつ	活動
	16:00～18:45	送迎・家族迎え	送迎・迎え対応、掃除

【主な活動内容】

昼食作り（長期休暇中）・おやつ作り・ゲーム・創作・外遊び・買い物

2) 1週間

	月	火	水	木	金
午前	(授業日) ・学校 (休業日) ・買い物 ・昼食作り	(授業日) ・学校 (休業日) ・買い物 ・昼食作り	(授業日) ・学校 (休業日) ・買い物 ・昼食作り	(授業日) ・学校 (休業日) ・買い物 ・昼食作り	(授業日) ・学校 (休業日) ・買い物 ・昼食作り
午後	(授業日) ・おやつ作り ・室内遊び ・外遊び ・ウォーキング (休業日) ・室内遊び ・外遊び ・ウォーキング ・プール(夏季のみ)	(授業日) ・おやつ作り ・室内遊び ・外遊び ・ウォーキング (休業日) ・室内遊び ・外遊び ・ウォーキング ・プール(夏季のみ)	(授業日) ・おやつ作り ・室内遊び ・外遊び ・ウォーキング (休業日) ・室内遊び ・外遊び ・ウォーキング ・プール(夏季のみ)	(授業日) ・おやつ作り ・室内遊び ・外遊び ・ウォーキング (休業日) ・室内遊び ・外遊び ・ウォーキング ・プール(夏季のみ)	(授業日) ・おやつ作り ・室内遊び ・外遊び ・ウォーキング (休業日) ・室内遊び ・外遊び ・ウォーキング ・プール(夏季のみ)

3) 1年間

5月	こどもまつり
7月	清瀬特支夏祭り イリアンソス夏祭り
8月	夕涼み会 おひさまサンサンフェスティバル
10月	ハロウィンパレード
12月	にぎやかカーニバル
3月	ぽかぽか春の集い

※新型コロナウイルス感染状況によっては行事が中止になることがあります。

#### 4. 相談部門

##### (1) 重点課題

これまで、法人の相談部門は学齢期と成人期の柱を立てて実施してきました。今後、学齢期については一年かけて他の機関に委ねていくこととし、成人期を中心に相談をおこなっていきます。

そして、法人の取組みに「利用者の立場に立った支援をめざして」とあるように、以下の取組みをおこなっていきます。

1) 各事業所の利用者支援会議等に参加することで常に利用者の把握をし、事業所が行う個別支援計画とサービス等利用計画を連動させていく。

2) 障害のある方を中心に家族・関係者のつながりを大切にしていきます。

相談部門主催の担当者会議・支援会議等を開催し本人の思いや希望を確認しあいながら、その人らしい暮らしに向けて、役割分担等をしていきます。

3) 相談支援の役割や今後の進め方について考えていきます。

他相談支援事業所と情報交換をおこなう等連携し、外部研修にも積極的に参加していきます。

#### 5. 事務部門

##### (1) 重点課題

1) 環境の整備を進めます

ハード面での整備も目途がつかしました。次はソフト面での整備を進めていきます。現在取り扱っているソフトが事務の一本化に沿っているものかの確認も含め、引き続き、現場の職員と連携をし、仕事のしやすい環境の整備をおこなっていきます。

2) 事務員の能力向上を進めていきます。

現在使用しているソフトの理解度を深め、能力の向上をしていきます。また、事務関係の研修だけでなく、法人内外で開催されます福祉についての研修にも参加をすることで、仕事の質を高めていきます。

職員の配置について、会計関係をまずしっかりと整え月次の把握がしやすいよう、各事業所の管理者と連携していきます。

事務員は事務をするだけでなく、現場との連携も当法人にとって重要なスキルの一つと考えています。日々の作業にとらわれることなく、利用者を中心にした組織を支えていく職員となることを目標にしていきます。

